



〈公開〉生と死の物語Ⅱ

□会場 東洋英和女学院大学大学院
(六本木) 201教室
東京都港区六本木5-14-40

□最寄駅 六本木駅(日比谷線徒歩10分)
麻布十番駅(大江戸線徒歩5分、南北線徒歩7分)
□先着 100名様 □事前申込み 不要

□参加費 各回500円
本学院在校生・教職員
生涯学習講座受講生 無料

第9回連続講座

2月16日(土)
14:40-16:10(受付14:10~)

■プロフィール

上智大学大学院理工学研究科博士後期課程(生命科学基礎論)満期退学。産業医科大学講師、山口大学医学部教授、京都芸文繊維大学大学院教授などを経て現職。前・日本生命倫理学会代表理事・会長。本学大学院において死生学を担当。

■主要業績

『小さな死生学入門—小さな死・性・ユマニチュード—』東信堂、2018年。『生命の問い—生命倫理学と死生学の問—』東信堂、2017。『生命の淵—バイオエシックスの歴史・哲学・課題—』東信堂、2005。

大林雅之

(おおばやし まさゆき) 本学人間科学部隣対受

バイオエシックスは 「いのち」の何に応えたのか

内容紹介：

1970年代の初めに日本にバイオエシックスの語が登場して40年以上の年月が経ちました。生命科学や医学研究の進歩は、医療のあり方を大きく変えました。また、インフォームド・コンセントや患者の権利なども広く社会に浸透してきたようにも見えます。そのような変化に、われわれ自身や社会はどのように対処し、またバイオエシックス(生命倫理学)はどのように対応してきたのでしょうか。本講演は、そのような問題について講演者の研究の変遷と重ね合わせて考えてみます。最終講義として行う予定です。

第10回連続講座

2月16日(土)
16:20-17:50

〈ラウンドテーブル〉コーディネーター大林雅之

生命倫理学のゆくえ

木村利人(早稲田大学名誉教授)
村岡 潔(佛教大学教授)

■木村利人(きむら りひと)

早稲田大学名誉教授、博士(人間科学)。ジョージタウン大学ケネディ倫理研究所・特任研究員。早稲田大学大学院修了後、1965年からタイ、ベトナム、スイス、アメリカの大学で研究・教育に従事。1987年、早大人間科学部教授。国際バイオエシックス学会理事、日本生命倫理学会会長、恵泉女学園大学学長等を歴任。

■村岡 潔(むらおか きよし)

佛教大学教授(医学哲学)。日本医科大学卒業後、日本医科大学救命救急センター、東京労災病院・北村山公立病院脳外科に勤務。その後、大阪大学医学部大学院(主任・中川米造教授)での研究を経て、現職。専攻は、現代医療思想(先制医療)、医療倫理、臨床医療社会学。

内容紹介：

日本におけるバイオエシックスの導入と展開について、その当事者ともいふべきゲストを迎えて、議論します。木村利人先生は欧米で新しい学問分野としてのバイオエシックスの発展に尽力され、日本への導入でも精力的に活躍され、議論をリードされてきました。村岡潔先生は、医師として活動されながら、医学概論、医学思想史の研究者として、日本の生命倫理学の黎明期から今日までを経験されています。このお二人と大林が上記の講演を踏まえて、ラウンドテーブル形式でディスカッションを繰り広げたいと思います。

〈2019年3月刊行〉東京英和女学院大学死生学研究所編(リトン刊)

『死生学年報2019 死生観と看取り』

定価2,500円+税 一般書店でご注文・ご購入いただけます。



お問合せ先

東洋英和女学院大学死生学研究所
shiseigaku@toyoeiwa.ac.jp
03-3583-4035 (fax専用)